

プロフィール



氏名 ジョゼフ ニーダム
(Joseph NEEDHAM)

生年月日 1900年12月9日生

国籍 イギリス

1900年、ロンドンの医師の子として生まれたニーダム博士は、ケンブリッジ大学では医学を専攻していた。しかし、在学中に、ビタミンの発見でノーベル賞を受賞した生化学者ホプキンス教授を知るに至り、生化学者としての道を歩み始めた。戦前の日本の専門家の間では、むしろ生化学者、発生生化学の先駆者として、同博士は知られていた。

1930年代の後半頃、中国における科学の発達史に興味を持ち、さらに中英科学協力機関責任者として、4年にわたる中国滞在を契機に中国への関心を深めていくこととなった。

同博士の研究は、宗教的情熱に支えられた勤勉さと、類いまれな創造力をもって、彼のライフワークともいべき大著『中国の科学と文明』に結晶していくのである。中国人の科学的業績の究明を辿っているこの著書は、未だ完成の途上であり、89才という高齢にもかかわらず、現在も同博士はその完成に向けて執筆中である。この著書は第二次大戦後における最大の知的業績であり、中国文明のみならず非ヨーロッパ文明に対する世界の知識人の見方を一変させるほどの影響をおよぼし、同博士の名を東アジア科学史の世界的権威として確立させたのである。

主な著作

『化学的発生学』1931 『生化学と形態発生』1942 『中国の科学』1945 『中国の科学と文明』1954（現在第6巻15冊まで刊行）『科学の前哨』〈共編〉1948 『文明の滴定』1969 『中国のランセット』1980 『中国科学の流れ』1984